

3年前、2019年9月
台風15号が千葉を直撃しました。
その頃、いすみ市の
古い家付きの竹山を買いました。



山を買う
焚き火で浄きよむ
空き家あきやかな

台風の影響で、解体業者は大忙し、廃屋撤去もままならず、
2020年3月には、コロナで学校は休み、世の中様変わり、
廃屋は再生と切り替えました。ごみ出し、トイレ作り、バイオマス、
床貼りと手を入れを始めました。



啓蟄や
手入れ手さぐり
山住まい

2020年 200本
2021年 400本
2022年 100本

イノシシは、まだ地中にある筍を1月の終わりから掘り始めます。人は、地上に出たのを、3月の終わりから、6月上旬まで採ります。



大量に採れるので
保存方法をいろいろ試した結果
塩漬けで1年、もちました。



筍や雑に採りても出るは出る



田植えが終わった5月末から50日くらい
蛍が飛んでいます



手がごしてママに見せんと蛍かな

筍が終わると、梅の季節です。
6本の梅の木があり、30キロの梅の実が取れました。



まだいける瓶かめ並べ梅仕事



こぼれ種からカモミール



雑草に交じって
赤しそ、青紫蘇
ふきが茫々
お茶、砂糖漬け菓子
ジュースに加工



アンゼリカ 露の色香の 儂さよ



日当たりの悪い地面に
ひっそりと咲く白い花
花のもとに見覚えのあるあの茗荷



3D模型

これがこの茗荷なりしか花の下

絶滅危惧種のふくろう



竹ハウス



急斜面を走る



柿の根元に沢がに



亀



息子がドラム缶を2つ仕入れてきました。
娘、孫、嫁にも好評。



囲い ありません。



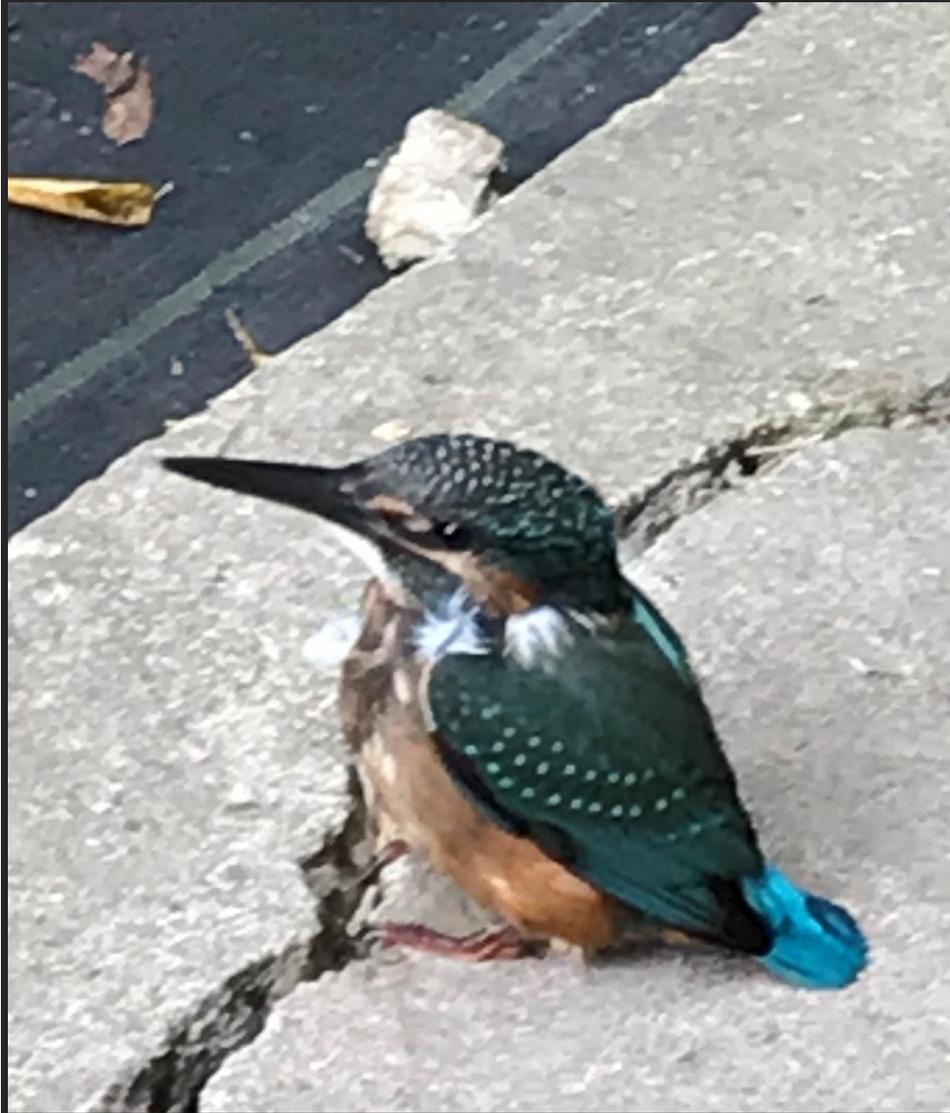
月今宵
ドラム缶風呂
炊き上がり



マキは、太東岬から
流木を拾ってきます。
軽自動車いっぱい積んで
夏は 4、5回、冬は2、3回、沸せます。



イシモチ釣れた



家の中に鳶が飛び込んできました。
窓から逃し、縁側を見るとカワセミが
たおれてました。

鳥の名を調べているうち
青い鳥は起きだし、
目をぱちくり、ぼうっとしてます。
トンビに攫われたのでしょうか。
しばらくして飛んでいきました。
さらい損ねたトンビは
竹の中からこっちを見てました。

幸せの青い鳥は
飼いならすものではなく
立ち寄ってくれるものなのでしょう。

青い鳥
鳶とびから逃れ
秋の野へ

10年以上、介護施設や地域のお祭りでフラメンコを踊ってます
今年も11月に踊ります。

舞浜倶楽部きはち・はじめ 2013年3月4日 フラメンコ



フラメンコサークル「ポニータス」の皆さまに、フラメンコをご披露いただきました。会場となったきはちのフロアーリビングいっぱいに、華やかな衣装を身にまとった14名のダンサーが登場。会場は一気に熱気に満たされました。床を踏み鳴らしフロアーに響くリズム、「オーレ！」の掛け声、曲調に合わせて変化する手拍子、カスタネットの音、ひるがえったスカートがご利用者に触れるほどの真近でみるフラメンコは、とても迫力がありました。耳馴染みのある「ジョビジョバ」をはじめ情熱的なフラメンコを8曲踊っていただきましたが、曲の合間には指導者小池ミミ先生の楽しいお話もあり、初めてのフラメンコに少々緊張した様子のご利用者にも、笑みがこぼれていました。



ポニータスの皆さまは、浦安市内の公民館でフラメンコを練習されており、最高齢の方は70歳とのこと。背筋を伸ばし難しいステップをリズムよく踊っていらっしゃる姿がとても印象的でした。ご利用者から小池先生にお礼のお花を贈呈したあと、ポニータスの皆さまがご利用者全員と一人ずつ握手をしながら言葉を交わし、とても和やかな雰囲気での楽しい時間が終わりました。

